

地域活性化シンポジウム (9/15)

～「やっかい者」の竹を貴重な資源として活用し、地域の活性化をめざす！～

これまでは生活上必要であった竹も需要が減り、また、過疎高齢化が進んだこともあり、県内では放置された竹林が増加しています。竹は繁殖力が旺盛で、森林や田畑はたまた住居にまで侵入し、私たちの暮らしを脅かし、「やっかい者」になっています。

この竹を「改質」し、バイオマス燃料として活用し、放置竹林問題解決と地域活性化を図ります。

日時 平成30年9月15日(土) 9:30～12:30

場所 ホルトホール大分 セミナールームL及びS

(大分市金池南1丁目5-1 TEL: 097-576-8877)

内容・日程

(1) 基調講演 9:50

演題 「早急に対策しないと山・川・海の荒廃を招く放置竹林問題とその対策」

講師 (株)日立製作所 開発部長 菅澤 貢 氏

(2) 調査発表:「大分川流域の自然と人とのかかわり」 11:00

講話 大分生物談話会 会長 日野 勝徳 氏

(3) 意見交換会(パネルディスカッション) 11:30

参加料無料

当日参加可

重要な自然の連鎖

HITACHI
Inspire the Next



【山】

広葉樹が落葉し、堆肥化自身の根に栄養素戻すと共にミネラル成分と植物性プランクトンの一部は川に流れる

【川】

山からの養分で川藻などが育ち稚魚が育つ、生き物も植物性プランクトンが餌となり育つ



【雨】

そして海から蒸発した水分が雨として山に提供する自然のサイクル

【海】

山・川からの養分で海草が育ち海草を餌にしてウニなども育つ、植物性プランクトンは稚魚、貝類などを育て豊かな海となる



山からの恵みが川・海を豊かにする自然の連鎖

竹など成長サイクル早い未利用バイオマス改質⇒持続可能なバイオマス循環社会



溶出ミネラルによる植物育成効果



枝葉も全て利用することで廃棄物の無い環境にやさしい技術を提供

《改質の一例》

分析項目	単位	ベース	孟宗		木質ペレット 品質区分B	判定値
			原料	改質		
総発熱量	KJ/kg	気乾	18,500	—	16,000-19,000	—
全水分	w t %	到着	39.2	—	10>	—
灰分	w t %	無水	3.7	—	3	—
C I	w t %	無水	0.17	0.01	0.03≥	0.1>
K	w t %	無水	0.80	0.23	—	
灰軟化温度	°C		800	1,400	1,100≤	1,100≤
灰熔融温度	°C		850	1,400		

© Hitachi, Ltd. 2018. All rights reserved.

大分川流域の自然と人とのかかわり

大分生物談会 日野勝徳



私たちが生活するまわりの自然に関心を持ち、多くの生きものが生息しやすい環境づくりを考えるために、自然環境や生物について調査研究しています。

＜説明の柱＞

1. 森・水田の自然

下流域：大分市上野の森

中流域：由布市陣屋の村

上流域：由布市平石の棚田

由布院の水田

2. 人の生活と生息環境について

